

タイリクヒメハナカメムシ剤

有効成分：タイリクヒメハナカメムシ成虫 100頭/100ml

その他の成分：鉱物質

性状：淡褐色粒状

包装：500ml クラフト紙缶（500頭入り）

使用上の注意事項

- 本剤はアザミウマ類を捕食する天敵タイリクヒメハナカメムシを封入した製剤である。
- タイリクヒメハナカメムシの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使い切ること。
- 放飼にあたっては、緩衝剤ごと葉上に静置すること。なお、容器中でタイリクヒメハナカメムシが偏在していることがあるので、使用の際には容器を軽くたいたいて緩衝剤と均一に混在させること。
- できるだけ均一に放飼することが原則だが、アザミウマ類の発生に偏りがある場合は、密度の高いところに重点的に放飼を行うこと。
- アザミウマ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、低密度で散見された時点で最初の放飼をすること。
- アザミウマ類の発生初期より約1週間間隔で、タイリクヒメハナカメムシの定着が確認されるまで数回放飼することが望ましい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を25～30℃に保つことが望ましい。
- タイリクヒメハナカメムシ成虫は冬期の休眠は少ないとされているが、厳冬期での捕食活動は低下するので、放飼は春期から初冬期までに行うことが望ましい。
- タイリクヒメハナカメムシの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。

天敵

農林水産省登録第21545号

リクトップ

Rik- Top

タイリクヒメハナカメムシ剤

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	
野菜類 (施設栽培)	アザミウマ類	1,000～3,000頭/10a	
使用時期	本剤の使用回数	使用方法	タイリクヒメハナカメムシを含む農薬の総使用回数
発生初期	-	放飼	-

貯蔵上の注意事項

- 本剤は天敵生物であり、容器内での生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないこと。

最終有効年月

入手後直ちに使用すること

販売

株式会社アグリセクト
茨城県稲敷市沼田2629-1

製造

株式会社アグリ総研 稲敷事業所
茨城県稲敷市沼田2629-1

